



作物遺伝資源多様性保全に捧げたキャリアと 適応作物と土壌のための新ミッション

2024年世界食糧賞受賞者

キャリー・ファウラー博士 特別シンポジウム

2024.10.11 **金** 14:00
16:30

ハイブリッド開催(会場及びオンライン)

会場 東京大学 弥生講堂一条ホール
(東京都文京区弥生 1-1-1)

講演者プロフィール

米国テネシー州出身。スウェーデンのウプサラ大学で博士号を取得。世界作物多様性トラスト(Global Crop Diversity Trust: Crop Trust)の設立に尽力、現代版「ノアの箱舟」と称されるスヴァールバル世界種子貯蔵庫(Svalbard Global Seed Vault)の父として知られる。世界の食料安全保障に不可欠な作物の多様性と遺伝資源の保全への長年の貢献が評価され、ファウラー博士は、ジェフリー・ホーティン博士とともに、2024年世界食糧賞受賞者に選ばれた。

参加費
無料

使用言語 日本語・英語
(同時通訳あり)

プログラム

14:00-14:10 開会挨拶 国際農研、農林水産省、外務省

セッション 1 ファウラー博士のキャリアを振り返る： 強靱な農業・食料システムのための遺伝資源多様性保全

14:10-14:20 日本ジーンバンクの紹介 松井 勝弘 (農研機構 遺伝資源研究センター)
14:20-14:30 ファウラー博士の経歴紹介 岩永 勝 (国際農研 顧問)
14:30-15:15 基調講演 Cary Fowler (米国国務省)

セッション 2 VACS とは？ アフリカにおける強靱な食料システム実現の ための適応作物と健全な土壌のビジョン

15:15-15:25 西アフリカの食料安全保障における、無視され十分に活用されてこなかった
植物種の重要性 Alexandros Gasparatos (東京大学 教授)
15:25-15:35 スーダンサバンナにおいて将来の気候リスクを緩和する土壌類型ごとの
ササゲ栽培システム 井関 洸太郎 (国際農研 主任研究員)
15:35-15:45 適応作物のための健全な土壌・異分野連携の必要性
中村 智史 (国際農研 プロジェクトリーダー)

セッション 3 ファウラー博士との意見交換

15:50-16:25 パネルセッション、Q&A 座長: Sarr Papa Sallou (国際農研 主任研究員)
16:25-16:30 閉会挨拶 江原 宏 (名古屋大学農学国際教育研究センター)

会場参加・オンライン参加ともに、ホーム
ページから事前にお申し込みください。

申込時に会場・オンラインのどちらか選択
してください。

※会場参加は、200名程度を想定しています。

日本語: [https://www.jircas.go.jp/ja/
event/2024/e20241011](https://www.jircas.go.jp/ja/event/2024/e20241011)

英語: [https://www.jircas.go.jp/en/
event/2024/e20241011](https://www.jircas.go.jp/en/event/2024/e20241011)

日本語



英語



Email: event-jircas@ml.affrc.go.jp

申込み締切 2024年10月9日(水)17:00

主催: 国際農林水産業研究センター (国際農研)

後援: 外務省、農林水産省、
農学知的支援ネットワーク (JISNAS)

●問い合わせ先

国際農研 情報広報室

住所: 茨城県つくば市大わし 1-1

電話: 029-838-6708

Email: koho-jircas@ml.affrc.go.jp

